



垂水遺跡

# 計量 やま がた

(一社)山形県計量協会  
〒990-2473  
山形市松栄二丁目2-1  
電話 (023) 644-9811  
FAX (023) 644-9810  
<http://www.keiryou-yamagata.net/>  
E-mail: keiryou-yamagata@sepia.ocn.ne.jp

**適正な  
計量・計測は  
地球を救う**

新年あけましておめでとうござい  
ます。

さて、昨年の総会において、伝統あ  
る山形県計量協会会長(第十四代)に  
就任いたしました。環境計量分野出身  
の会長は、全国的にも珍しいのではと  
思います。

私と計量協会の接点は、おそらく環  
境計量士の登録を行なった昭和五十四  
年頃まで遡ると思います。以降、計量  
器販売に関する規制緩和などの影響も  
あり、一般計量分野の会員数が徐々に  
減少していく中、相対的に環境計量分  
野の会員数は増加の一途をたどり、昭  
和六十二年、環境計量証明部会の立ち  
上げを契機に役員として協会運営にも  
関わるようになりました。

正直、私自身、一般計量に関する知  
識はまだ不足していると感じていま  
す。これから折を見て、実際にどん  
な仕事をしているのか、職員と一緒に  
現場に出て、勉強していきたいと思っ  
ています。

本年度、十二年ぶりに新卒者二名を  
採用しました。恐らく、現時点におい  
て、職員の平均年齢が最も若い協会で  
あろうと思います。かつて、「敬老協  
会」と揶揄された時代を振り返ると、  
まさに隔世の感があります。そして、  
職員の一般計量士の資格保有率(新卒  
者・事務職を除き100%)も恐らく



## 年頭の挨拶

会長 河合直樹

トップレベルだと思えます。長期的な  
展望に立ち、積極的かつ計画的に人材  
の育成に取り組んできた成果がようや  
く実りつつあると実感しています。

我が計量協会には「もの」の財産は  
ほとんどありません。土地も建物も検  
査に使う機器類もすべて県の持ち物で  
す。取って財産として誇れるのは、そ  
こで働く「人」であろうと私は思いま  
す。

昨年末の理事会のあと、新採職員の  
歓迎会を兼ね、三年ぶりの忘年会を開  
催しました。コロナウイルス感染防止  
に配慮し、参加した役員・職員全員の  
ショットスピーチに耳を傾けながら、  
手酌で料理を堪能しました。普段聞け  
ないようなプライベートな話題(趣  
味、子ども、ペットなど)が聞  
けて、より一層、親近感を感じた幸せ  
なひと時でした。ウィズコロナ時代  
にも食品ロス対策にもマッチした新しい  
飲み会の姿だと思えます。

ウクライナ、コロナ、物価高騰…、  
混沌とした世の中ではありますが、職  
員一同、経済・産業の基盤である計量  
制度を支える我々の社会的使命を再度  
深く肝に銘じつつ、一丸となつて新た  
なる伝統を築いていく所存です。今後  
ともご指導ご鞭撻のほど何卒よろしく  
お願い申し上げます。



山形県産業労働部産業創造振興課  
鉱山鉱害防止主幹 小座間 充

新年明けましておめでとうございます。

貴協会におかれましては、本県の指定期間検査機関・指定計量証明検査機関として、感染対策を徹底しつつ、適正な計量業務の実施に御尽力を賜り、心より感謝申し上げます。また、会員の皆様には、本県の計量行政の推進にあたり、日頃より御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年も新型コロナウイルスの影響が濃い一年となりました。本県では連日、千人を超える新規感染者が発表され、本寄稿が掲載される頃には感染者の累計が二十万人に達するものと思われまます。このような状況の下、貴協会及び会員の皆様におかれましては、経済活動や生活が大幅に制限される中、日々精励されておられることに深く敬意を表するものであります。

新型コロナウイルス感染症の世界的流行が始まってから三年が経過しようとしております。パンデミックのピークを過ぎ、新型コロナウイルスの打撃から回復しつつあるものの、足元では、国際的な原材料価格の上昇と円安による物価の高騰が続いております。ウィズコロナに向けた新たな段階への移行とともに、ポストコロナの社会づくりが求められる中、新型コロナウイルスへの対応と社会経済活動の両立を進めていくことが重要と考え、県も必要な施策を進めて参ります。さて、山形県における話題として、

一般財団法人日本総合研究所から公表された「全四七都道府県幸福度ランキング二〇二二年版」におきまして、山形県は七位にランキングされました。

この幸福度ランキングは、政府の統計データ等を基に、人々の幸福度と関連性が高いと判断した客観的な八〇の指標を用いて算出されております。本県については、「仕事分野における正規雇用者比率や高齢者有業率の高さ、生活分野における一人暮らし高齢者率の低さと持ち家比率の高さなどから雇用の安定と家族の支え合いによる幸福な社会生活の基盤が充実している」とのコメントがあり、県民の日々の暮らしぶりなどが目に見える形で評価されたものと県は受け止めております。

計量にかかる昨年の取り組みといったしましては、貴協会、山形市との共催事業として「親子はかりづくり教室」を開催し、小学生が、はかることの楽しさ、はかることの大切さを実践する機会を提供するとともに、イオンモール山形南店にて「くらしと計量展」を開催し、広く県民の皆様へ計量の大切さを認識いただきました。今年もウィズコロナの観点を踏まえ、貴協会と一層連携を深め、普及・啓発事業に取り組んでまいりたいと考えております。

最後に、山形県計量協会の益々の御発展と、会員の皆様の御多幸を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。



山形市計量検査所 所長折 原 浩 文

新年明けましておめでとうございます。皆様には、健やかに新しい年をお迎えることとお喜び申し上げます。

貴協会におかれましては、山形市の指定期間検査機関として、適正な計量の実施に向け御尽力をいただき感謝申し上げます。また、会員の皆様には、計量行政の推進にあたり、日頃より御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、北京冬季オリンピック・パラリンピック、サッカーワールドカップでの日本選手の活躍に感動を覚えた反面、ロシアによるウクライナ侵攻や、安倍元首相銃撃事件、円安や物価高の影響など、多くの人々に不安を与える出来事が絶えなかった一年であったと感じられます。

また、新型コロナウイルスの感染が国内で初めて確認されてから今年十五日で三年になりますが、デルタ株からオミクロン株への置き換わりにより急激に感染が拡大するなど、新型コロナウイルスに振り回された年でありました。そのような中ではありましたが、山形市計量検査所として、商品量目、燃料油メーター、証明用電気計器(子メーター)、水道メーターの立入検査を計画通りに実施することができました。また、貴協会、山形県との共催事業として三年ぶりに「親子はかり作り

教室」を八組十七名から参加いただきました。開催することができました。参加者からは、「楽しかった」「勉強になった」

「親子で協力しながら楽しくはかりを作る」ことができ、夏休みにびつたり企画でした」との感想をいただき、無事に開催できたことをうれしく思うとともに、身近にある「はかり」について関心をもっていただけたものと思っております。

どのような時代にあっても「計量」は、私たちの日常生活の中でなくてはならない「基準」であり、皆様の生活の安全・安心の基盤として機能しているものです。本市では引き続き特定計量器の定期検査の適正な運用、立入検査業務の強化や一般消費者を対象とした各種啓発事業を実施して参ります。貴協会には今後とも、一層の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年は、コロナ禍が収束し、経済活動が回復するとともに、平穏な生活が戻り、明るく元気な年となることを願うものです。最後に、山形県計量協会の益々の御発展と、新しい年が会員の皆様にとりまして飛躍に満ちた輝かしい年になりますことを御祈念申し上げます。新年の御挨拶とさせていただきます。



## 新年のご挨拶

環境計量証明部会長 大 高 廣 志

二〇二三年、明けましておめでとう  
ございます。新春の喜びをお迎えの事と  
存じ上げます。

本年は、穏やかで、跳ねる、うさぎ  
の性質から家庭安全とともに景気的好  
転する卯年である事を期待申し上げま  
す。

皆様方には、日頃より、環境計量証  
明部会及び会員にご指導を賜り厚く御  
礼申し上げます。

さて、二〇二二年は、新型コロナウ  
イルスが三年に亘り流行し、社会生活  
環境の激変、交易、観光、生産の停滞  
等による景気の低迷に追い打ちをかけ  
る、ロシアによるウクライナ侵攻戦争  
により、エネルギー、食糧危機と物価  
上昇による生活不安をひしひしと感じ  
る年であり、世界が経済、情報、金融  
においてグローバルの丸い地球で、平  
和の尊さで共存できる国際秩序を願っ  
た年でもありました。

私事ですが、昨年十月に開催されま  
した東北六県北海道計量協会連合会総  
会において計量功労者として表彰を頂  
きました。皆様のお蔭と感謝致します。

本年は、政府がウイズコロナ政策に  
シフトとともに、新型コロナウイルスが国  
産化され、技術生産が国際危機、コロ  
ナ危機により国外生産の危うさを感じ  
、国内生産、技術立国日本の立て直  
しを見え始めており、産業、観光、商  
業界に明るい光が射し込み、また、ウ  
クライナ戦争が、人命、産業、生活環  
境を破壊する戦争に終止符を打ち地  
球、地域の環境問題を克服して、平和  
な飛躍のうさぎ年なる事を期待申し上

げます。

当環境計量証明部会は、一九八七(昭  
和六十二)年に環境計量士が所属する  
環境計量事業所として山形県から登録  
を得た企業で組織しており、現在は、  
十九社で構成しております。

業務内容

大気部門 大気の汚染状態の調査解析  
水質部門 河川、上下水道、工場排  
水、温泉等の水質調査解析

騒音振動部門 道路、工場商業施設の  
騒音振動の調査解析

上記三部門の国家資格の環境計量士  
が計量調査、解析評価を行っておりま  
す。

本年度研修会(二〇二二年)

一) 九月十五日に日環連東北支部  
と共催で特別講演、事例発表  
会で東北、県内から九十一名の  
参加を頂きました。

二) 十二月二日クロスチェック他  
の研修会、総会での研修を含め  
三回の研修会で技術向上を目指  
します。

広報活動

一) 実態見合った業務を請け負う  
為の要望活動

二) 環境計量証明の技術者、資格  
会社概要を記載した会員名簿を  
配布し知名度アップを行ってお  
ります。

三) 本年度計画・幼児、小学生の  
参加型おもしろかがく広場

最後になりますが、本年も会員にご  
指導をお願い申し上げます。新年の挨拶  
と致します。



## 新年のご挨拶

計量士部会長 竹 田 和 彦

新年あけましておめでとうございま  
す。

新春の皆様と共に健康で迎えること  
が出来ましたこと心からお慶び申し上  
げます。

旧年は、新型コロナウイルスの変位  
株(オミクロン株)が流行し、対応さ  
れたワクチン接種も始まっておりまし  
が、新規感染者は今尚増え続け、第8  
波への警戒が未だ予断を許さない状況  
が続いています。

日本経済は、ウクライナ侵攻と新型  
コロナの影響により、円安に加えて原  
油など原材料価格の高騰、ガソリンや  
軽油など燃料価格の上昇など様々な形  
で波及し、先行きが不安な生活が余儀  
なくされています。さらに賃上げの動  
向の他、人手不足の高まりや人材採  
用、労働力確保に向けた動きも注視す  
る必要があります。

早くこの暗いトンネルを抜け、明る  
い笑顔があふれる毎日に戻り、みんな  
で未来に向かって進んでいけるような  
世界になればと願っております。

また、年甲斐もなく大興奮したの  
が、寝不足になりながらも日本中が一  
丸となって応援した二〇二二カブール  
ワールドカップでした。強豪のドイ  
ツ、スペインを破りグループを一位で  
通過し、決勝トーナメントでは森保一  
監督の言っていた「新しい景色(ベス  
ト8)」には、あと一歩及ばずでした  
が、選手たちの努力の積み重ねと最後

まで諦めない姿勢が日本サッカーの可  
能性を見出してくれたものと感動を覚  
えました。

計量業界では、東北北海道計量士協  
議会も二年ぶりに岩手県で開催されま  
した。

コロナ禍ということもあり参加人数  
が少ない状況ではありましたが、議題  
は、計量団体・計量士の将来について  
ということ、各道県とも若い職員の  
採用と人材育成が最重要課題であると  
感じていたようです。

計量士のスキルアップは必要不可欠  
ですが、先を見据えた職域拡大、新規  
事業の取り組みも必要であると改めて  
実感しました。

一昨年に続き、計量法施行令及び計  
量法関係手数料令の一部を改正する政  
令等の一部を改正する政令が公布さ  
れ、ホッパースケール、充填用自動は  
かり、コンベアスケールの使用の制限  
の開始日を五年延期、自動はかり三器  
種及び自動捕捉式はかりの検定手数料  
に係る特例措置が改正されております。

めまぐるしい変化の時代だからこ  
そ、当部会も今後の社会情勢を踏まえ  
ながら、計量士の技術・知識の向上に  
努めていきたいと思っております。

最後に、会員皆様のご多幸と益々  
ご発展を祈念いたしまして、新年のご  
挨拶とさせていただきます。

# 山形県産業創造振興課からのお知らせ

## ※産業創造振興課計量担当の業務内容

- ・計量関係事業者の登録及び届出等
- ・商品量目、特定計量器、計量関係事業者への立入検査
- ・計量法に基づく指導、啓発
- ・委託先の計量協会との連絡、調整

## ※令和 4 年度の人事異動後の配置職員

- 産業創造振興課長 丸子 尚
- 鉱山鉱害防止主幹 小座間 充
- 主 査 佐藤 寛幸
- 主 事 遠藤 佑一

## ※連絡先

山形市松波二丁目 8 番 1 号  
電話 0 2 3 ( 6 3 0 ) 2 1 1 5

## ※計量行政の動向について

計量関係手続きについて、一部を除いて、書面等への押印は不要としております。

## ※計量器販売事業者へのお願い

計量法では、取引・証明に使用する計量器は検定証印等が付されているものであり、二年に一回の定期検査を受検することになっています。

取引には継続的に商品量を計量し、販売すること等が該当します。証明は、他人に一定の事実を表明することとされていることから、学校、幼稚園、保育所等での健康診断における体重測定のための計量や、医療機関等で行われる調剤のための計量も該当します。計

量器の販売においては、計量器がはかることができる重さの使用範囲や、顧客の用途を充分確認の上、取引・証明に使用する場合は、検定証印等が付された計量器を供給していただき、併せて定期検査の受検義務についても周知していただきますようお願いいたします。

## ※計量証明事業者へのお願い

計量証明事業を行う場合は、県へ登録をしなければなりません。登録をする際に、計量士又は主任計量者が計量管理を行うものであることが要件となりますので、改めて登録の要件等のご確認をお願いいたします。

なお、県では主任計量者の資格を取得できる主任計量者試験を年二回（例年六月と十二月）開催しています。

また、計量証明事業者が保有する計量設備に関しては、設備毎に定められた期間により計量証明検査を受検する必要がありますので、受検漏れのないようお願いします。

さらに、事業所所在地の変更等、届出が必要となる場合がありますので、変更が生じた際は、ご確認をお願いいたします。

詳しくは、産業創造振興課までお問い合わせください。

令和二年四月一日から、登録申請、変更届等の添付書類の一つであった欠格条項に該当しない旨の「誓約書」の添付を廃止しておりますので、御留意ください。

# 山形市計量検査所からのお知らせ

## 一 全国特定市計量行政協議会

全国の特定市（百二十六市）で組織しており、特定市間の緊密な連携を図り適正な計量の実施を確保するため、各種事業を実施しております。

なお、令和四年度全国特定市計量行政協議会東北地区会議（文書会議）が開催され、次の項目について協議や意見交換を行いました。

○計量法第二十一条第二項に基づく、指定定期検査機関に係る公示の方法や内容について

## 二 特定計量器定期検査

平成十八年より、一般社団法人山形県計量協会を山形市の「指定定期検査機関」に指定し、定期検査の全部を委託しました。

定期検査は、商店・医院等で取引又は証明行為に使用する特定計量器を対象に、山形市内を東西に分け、二年に一回の周期で実施しており、令和四年度は東部地区の検査を実施しました。

## 三 立入検査

①商品量目立入検査  
全国計量行政会議（事務局・経済産業省）の実施計画に基づき、全国一斉商品量目立入検査として実施しました。

・立入事業所 市内量販店等十一店舗  
・検査結果 立入検査を行った十一店舗の内一店舗で不足商品が確認されました。その場で再計量を指示し、適正計量についての指導を行いました。

②燃料油メーター立入検査  
計量器の封印線の着脱及び検定有効期間の管理状況を検査しました。

・実施月 令和四年九月・十一月  
・立入事業所 市内十五事業所  
・検査台数 百七十一台  
・検査結果 検定証印、有効期間及び封印状況のいずれも適正であることを確認しました。

## ③証明用電気計器（子メーター）立入検査

検定証印等の有無、有効期間及び封印の状況等についての検査を実施しました。

・実施月 令和四年八月・九月  
・立入事業所 市内二事業所  
・検査台数 三台  
・検査結果 検定証印、有効期間及び封印状況のいずれも適正であることを確認しました。

## ④水道メーター立入検査

有効期間の管理状況、メーターの交換計画、有効期間の遵守状況等の検査を実施しました。

・実施月 令和四年十二月  
・立入事業所 山形市上下水道部  
・検査台数 十万五千五百十五個  
・検査結果 有効期間・台帳の管理状況等いずれも適正であることを確認しました。

## 四 啓発事業

①くらしと計量展  
十一月一日の計量記念日にちなみ、山形県産業創造振興課及び山形県計量協会との合同で、山形南イオンにて計量啓発パネルの展示及び計量のひろばの配布を行い、来場者に対して計量に関する意識の向上を図りました。

②親子はかり作り教室  
夏休み期間中に、山形県産業創造振興課及び山形県計量協会との合同で親子参加型の啓発講座を開催し、計量に関する関心の醸成を図りました。

実施月／立入店舗数	前期 6・7 月／6 店舗	後期 10～12 月／5 店舗
検査商品数	前期 326 個	後期 230 個
不適正商品数	5 個	

# 計量協会からのお知らせ

## ■特定計量器定期検査実施予定について

取引又は証明に使用している「はかり」は、計量法に基づく定期検査を2年に1回受けなければなりません。  
令和5年度の定期検査実施区域は次のとおりです。

- ◆山形県所管 米沢市、酒田市、寒河江市、上山市、長井市、南陽市、東・西村山郡、東・西置賜郡、飽海郡
  - ◆山形市所管 西部地区
- ※具体的な日程・場所等は、当協会より受検対象者に対して、ご通知いたします。

## ■指定定期検査等業務受託事業 実績報告(11月末現在)

### ○特定計量器定期検査・計量証明検査業務

取引・証明に使用する計量器の定期検査等業務を山形県、山形市から受託し、実施しました。

検査区分	検査日数	受検者数	検査個数	不合格数	
山形県	定期検査	175日	2,090件	4,931個	7個
	計量証明検査	8日	25件	25個	0個
山形市	定期検査	63日	560件	1,657個	9個

※検査区域：県所管6市3郡（鶴岡市、新庄市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、北村山郡、最上郡、東田川郡）  
市所管 山形市東部地区

### ○特定計量器検定・検査業務

山形県の委託事業として検定、検査業務を実施しました。

検査区分	検査日数	検査個数	不合格数
燃料油メーター検定	70日	926個	3個
タクシーメーター装置検査	99日	940個	1個
質量計検定	13日	17個	0個
基準器検査	10日	391個	0個

### ○計量器精度確認検査業務

本協会が定めた規程に基づき、検査を実施しました。

検査区分	検査日数	受検者数	検査個数	不適合数
依頼検査	27日	141件	693個	4個

### ○計量管理業務受託事業

◆適正計量管理業務として、計量器検査及び使用に係る管理業務等を実施しました。

検査区分	検査日数	事業所数	検査個数	不適合数
日本通運(株)	2日	7事業所	32個	0個
日本郵便(株)	34日	208局	474個	1個

◆計量管理業務を受託し、年1回の計量器検査、量目検査及び計量管理指導等を実施しました。

検査区分	検査日数	事業所数	検査個数	商品量目
イオン東北(株)	7日	7店舗	160個	405個



年頭に際し会員みなさまのご健勝をお祈り致します



- |  |   |  |  |
|--|---|--|--|
| <p>業務課 同 同 同<br/>業務主任 松田遥花<br/>業務課長 東海林一志<br/>業務課長 高橋正孝<br/>業務課長 大江亮介<br/>業務課長 池田泰希<br/>業務課長 木村寿啓<br/>業務局長 安藤寿啓</p> <p>【事務局】<br/>事務局長 竹田和彦</p> | <p>環境計量証明部<br/>部長 松本義文<br/>副部長 佐藤利夫<br/>部長 大高廣志</p> | <p>顧問 安孫子 初文<br/>監事 松本義文<br/>理事 佐藤利夫<br/>理事 松田義夫<br/>理事 伊藤亨夫<br/>理事 大高和志<br/>理事 森沢泰徳<br/>理事 六高善幸<br/>理事 岡部淳一<br/>理事 竹田啓一<br/>理事 長岡和彦<br/>理事 太田修一<br/>理事 武田惠一<br/>理事 小田直樹</p> | <p>副会長 河合誠<br/>常任理事 小田直樹<br/>常任理事 武田惠一<br/>常任理事 太田修一<br/>常任理事 長岡和彦<br/>常任理事 竹田啓一<br/>常任理事 岡部淳一<br/>常任理事 高橋善幸<br/>常任理事 森沢泰徳<br/>常任理事 大高和志<br/>常任理事 伊藤亨夫<br/>常任理事 松田義夫<br/>常任理事 佐藤利夫<br/>常任理事 松本義文</p> |
|--|---|--|--|

一般社団法人山形県計量協会

### 令和四年度東北・北海道計量大会 第六十九次東北六県北海道計量協会連合会総会

令和四年度東北・北海道計量大会及び第六十九次東北六県北海道計量協会連合会総会が、(一社)福島県計量協会当番により、令和四年十月六日(木)福島市の「ホテル福島グリーンパレス」に於いて計量行政機関、計量団体、会員等関係者約一〇〇名が一堂に会して開催されました。本県から七名参加していただき誠にありがとうございました。

#### ◎東北・北海道計量大会

はじめに昨年度物故者へ黙祷を捧げ、八巻研一東北六県北海道計量協会連合会会長(二社)福島県計量協会)挨拶後、長年、業界の発展並びに計量思想の普及啓発に尽力された方々への計量功労者表彰が行われました。

本県からは、都市計画や環境調査に取り組み、常に最新の技術と測定機器で適正な計量の実施に務められている大高廣志氏(当協会理事/環境計量証明部会長/三協コンサルタンツ(株))が受賞され、表彰状と記念品が贈呈されました。

計量大会を記念し、社会福祉法人福島県社会福祉協議会へ「車いす体重計二台を寄贈。その後、大会宣言が読み上げられ満場一致で採択され、本大会は滞りなく終了しました。

#### ◎連合会総会

大会に引き続き、第六十九次東北六県北海道計量協会連合会総会が、八巻連合会会長を議長に開催されました。提案議題は次のとおりです。

- 議題一、若手計量士育成のための要望について(山形県)
- 議題二、自動はかりの指定検定機

#### 関について(秋田県)

議題三、連合会総会の次期開催地について(福島県)

議題一については、当県より、指定定期検査機関の職員が計量研修センターへ入所する際の受講に係る費用の免除(若しくは減額)を要望しました。このことについて、大崎美洋計量行政室長と島岡一博計量研修センター長より現状説明がなされ、今後の状況を見ながら検討していくとの回答がなされました。

#### 議題二に

ついては、秋田県より要旨説明がなされ、大崎計量行政室長より指定検定機関の現状と今後の検定実施に向けての説明がなされました。

最後に、次期開催地を北海道とする事に全会一致で承認され、大会旗が北海道計量協会本郷会長へ引き継がれ、連合会総会は無事閉会しました。



### 第四十二回東北・北海道計量士協議会

この協議会は、東北・北海道をもって組織し、計量士の技術の向上発展並びに相互の連絡協調を図ることを目的とし、毎年一回輪番制で開催している。

- ◆期 日 令和四年十二月八日(木)
- ◆場 所 ホテルメトロポリタン盛岡
- ◆主催 二社)計量計測技術センター(岩手県)
- ◆講話 (二社)日本計量振興協会 常務理事 村松 徳治氏
- ◆出席者 一般計量士二十八名

#### 《議 事》

二年ぶりに東北・北海道計量士協議会が岩手県で開催され、各道県より提案された議題について協議された。

議題では、デジタル化における業務の効率化、生産性向上について、検査書類等もペーパーレス、印鑑不要など効率化を目指していく時代となり、タブレットの利用を検討している県もあった。また、持続可能な計量制度を考える上での提言では、指定定期検査機関及び代検査事業の拡大や増収が見込まれる事業及び人材育成など計量団体・計量士の将来について積極的な意見が交わされた。

#### 《講 話》

村松徳治常務理事より、「最近の計量関係情報について」と題し、指定検定機関の現状、JIS改正及び各計量団体の活動等について説明が行われた。



### 計量功労者表彰 ～おめでとうございます～

令和4年度に計量功労者として次の方々を受賞されました。

◎ (一社) 日本計量振興協会感謝状  
安 孫 子 初 氏  
(計量協会顧問/前協会長)

◎ (一社) 山形県計量協会会長表彰  
佐 藤 恵 氏  
(東北環境開発(株))

◎ 東北六県北海道計量協会連合会会長表彰  
大 高 廣 志 氏  
(三協コンサルタント(株)/協会理事、環境計量証明部会長)

◎ (一社) 山形県計量協会会長表彰  
関 京 子 氏  
(イオン東北(株))

# 計量思想普及・啓発事業 (山形県・山形市・(一社)山形県計量協会共催)

## 親子はかり作り教室の開催

令和4年7月30日(土)山形市消費生活センターにて、夏休み特別企画【親子はかり作り教室】を3年ぶりに開催いたしました。今回は、募集人数を減らし人数制限を行ったにもかかわらず、申込開始日から早々に定員に達し、小学3～6年生の児童と保護者8組17名の参加申込がありました。

当日は、新型コロナウイルス感染防止のため、会場の換気、受付時の検温・アルコール消毒、マスクの着用、密にならないようソーシャルディスタンスを実施しました。

★身近な【計量】をパネルなどで学習します。



★親子で協力して【棒はかり】を作成します。



★完成した【棒はかり】の正確さを確認します。



★【はかり作り免許証】を交付しました。



親子で楽しく計量についての知識を深め興味をもってもらうことができました。  
“計量”を身近に感じていただけるよう、今後も普及啓発に努めていきます。

## くらしを守る計量パネル展の開催

令和4年10月31日(月)～11月1日(火)の期間、イオン山形南2Fを会場に【くらしを守る計量パネル展】を開催いたしました。



新型コロナウイルス感染防止のため、前回同様の開催となりました。

展示パネルは「検定と定期検査」「家庭用計量器」「風袋」など生活にかかわりの深いパネル9枚を展示しました。次回こそは、コロナが終息することを願い、盛大に開催したいと思っております。

～皆様のご来場をお待ちしております～

環境マネジメントシステム (ISOアクション21)・労働安全衛生コンサル・各種環境調査

河合環境コンサルタント事務所 所長 河合直樹

- 技術士(環境部門) ■労働安全コンサルタント ■労働衛生コンサルタント
- エネルギー管理士 ■環境計量士 ■エコアクション21審査員 ■環境カウンセラー

〒990-2461 山形市南館5-6-24 TEL/FAX: 023-645-4539 Email: kawa-nao@jt8.so-net.ne.jp





# 2023年 迎春 本年もどうぞよろしく



まちに緑の空間を

## 環境調査

環境計量証明(騒音・振動)  
建設コンサルタント・補償コンサルタント・  
地質調査業・測量業



取締役会長 大高 廣志  
代表取締役 佐藤 裕之

本 社 / 天童市長阿北一丁目2番1号 ☎ 023-655-5000  
山形事務所 / 山形市松波四丁目9番35号 ☎ 023-635-2814  
仙 台 支 店 / 仙台市青葉区木町通一丁目7番21号星J-★ ☎ 022-214-5585

## かけがえのない水 認知と技術でリサイクル 東北環境開発株式会社

水、空気、土壌の分析  
信頼のあるデータを  
提供いたします。

- ・水道法に基づく水質検査、建築物飲料水水質検査、プール水水質検査
- ・室内環境分析(シックハウス)、作業環境測定、悪臭分析、排ガス測定
- ・事業場排水・環境水(河川海域等)分析、土壌・底質分析、産業廃棄物分析
- ・土壌汚染調査、騒音・振動測定

本社 〒997-0845 山形県鶴岡市下清水字打越2番地の1  
TEL 0235-24-3110 FAX 0235-24-3859  
支店 酒田・山形・山形分析センター

## 会員皆様の御多幸をお祈り致しております。

はかり・圧力計・工業用計器及び各種材料試験機の販売、修理  
調整・検査などを、主にしております。

## 株式会社 酒田衡器

〒998-0105  
酒田市広野新田字川端割45番地の9  
TEL 0234-91-1355  
FAX 0234-91-1356  
E-mail : sakata-kouki@triton.ocn.ne.jp



## 株式会社シーアンドワイ

〒990-2161 山形県山形市漆山字大段1865番地5  
TEL : 023-687-1350  
FAX : 023-687-1355  
E-Mail : office@y-candy.co.jp  
URL : https://www.y-candy.co.jp

事務機器、事務用品販売・修理

環境関連の各種測定分析(大気・水質・騒音・振動)  
作業環境測定(粉じん・特化・金属・有機)・労働安全衛生関連業務



環境省  
エコアクション21  
認証・登録番号0000022



ISO 9001  
JUSE-RA-1508

## 株式会社 テトラス

〒990-0868 山形市大字志戸田550番地  
本 社 TEL 023(643)3226 FAX 023(645)6733  
庄内ラボ TEL 0234(31)1771 FAX 0234(31)1711





株式会社

## 山形共和電業

応力測定器総合メーカー/ひずみゲージ/変換器  
代表取締役社長 齋藤 美雄

〒999-3701 山形県東根市大字東根甲7057番地24

TEL:0237-41-1340 FAX:0237-41-1350

確かな計測で、その先の未来へ

KYOWA



株式会社

## 荘内計装

計量士 竹田 和彦

(株)クボタ計装 販売・サービス協力会社  
(株)エー・アンド・ディ サービス代理店

☎998-0061 山形県酒田市光ヶ丘1-7-18

TEL 0234(33)2011 FAX 0234(33)2001  
<http://shonaikeiso.co.jp>

**\*生コンクリート・二次製品製造業用計量・計測器及び材料試験機検査・修理・販売\***  
営業品目

生コンバッチャースケール・各種はかり・材料試験機・エアーメーター・シュミットハンマー・塩分濃度計・恒温水循環装置・ペーハー処理装置・試験器具全般・その他、プラント及び試験機改造工事・保守管理等も行なっております。



自動計量包装値付機  
AW-5600II



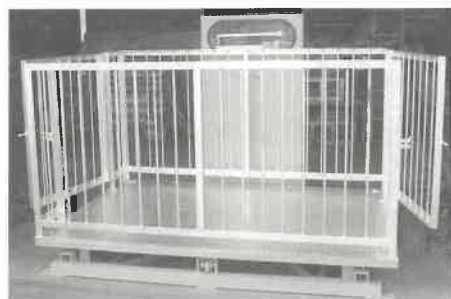
対面計量ラベルプリンタ  
SM-6000FF

寺岡はかり —生き残る為のツール!—

- POSシステム・顧客情報システム
- レシトラベルプリンター
- 自動包装機
- 計量器総合

株式会社 協立商会

山形営業所 山形市馬見ヶ崎2-1-1 ☎ (023) 681-2015  
庄内出張所 鶴岡市平京田屋敷廻71-4 ☎ (0235) 22-3470



計量化・標準化・規格化・機器・装置の販売  
計量器全般の検査・修理 特殊衡器の設計製作

明治8年創業 荒井はかり店



有限会社

## 山形計量センター

〒990-2477 山形市長苗代56番地の1  
電話 (023) 645-1369 FAX 645-1386

法人向けドライブレコーダー取付サービス

## トリツケマモル

詳しくは当社ホームページをご覧ください

株式会社ニッコウ電機商会



トリツケマモル



### 計量器・分銅の計量管理

■計量機器、測定機器及び分析機器の検査、校正実施いたします。

当協会では、適正な計量器（はかり）、分銅の使用観点から、生産工程・品質管理などで使用されているはかりや分銅の検査、校正を実施しております。これらの検査、校正は適正な計量管理や信頼性の向上等に繋がりますので、御要望のある方は、ご連絡ください。

◆詳細は山形県計量協会ホームページをご覧ください。



### 新人職員紹介

昨年4月に、2名の新しい職員が増えました。フレッシュな力で精一杯頑張りますので、皆様どうぞ宜しくお願い致します。



東海林 一志

目の前の仕事ひとつひとつ真剣に取り組み、一日でも早く戦力となれるように励み貢献したいです。そして、少しずつ自分のやれる事を増やしながら、新しいことにどんどん「挑戦」していきたいと思います。



松田 遥花

「こころがこもっていて、いつわりがないこと」という意味をもつこの言葉が好きです。入社と運転免許の取得から九か月が経ちました。何事も慣れ始めが緩み時ですので、初心を忘れずに頑張りたいと思います。

### 表紙の写真

山形県を代表する観光地といえは山寺が有名ですが、その山寺から少し奥に進むと、通称「裏山寺」と言われる正式名称「峯の浦」があります。ここはかつて、山寺を開山した慈覚大師円仁が立石寺の構想を練った場所と言われています。

その中で一際神秘的な雰囲気を漂わせているのが「垂水遺跡」蜂の巣状の巨大な岩肌に造形美な鳥居が佇む光景はまさに圧巻です。

大正時代まで山伏が修行する姿が見られ、修験跡や五輪塔窟などの遺跡も残る名所です。

山形県にお越しの際はぜひ訪れてみてはいかがでしょうか。

【写真撮影・記事】 8E



【円仁が宿泊していたとされる宿跡】

### あとながき

新年あけましておめでとうございませう。

昨年末に開催されたサッカーワールドカップとボクシング世界戦は、長引くコロナ禍で落ち込む日本社会に勇気と感動を与えてくれました。

サッカー日本代表は悲願のベスト8こそ逃しましたが、VAR判定という「最新の技術」により生まれた「一ミリの奇跡」により決勝トーナメント進出。今後の日本サッカーに夢と希望を与えてくれました。

また、ボクシングの井上尚哉は、世界バンタム級四団体統一戦に挑みました。前日の計量では従来JBCが使用している天秤式の体重計を「時代遅れ」と相手陣営に指摘され、急速デジタル式の体重計を採用。三十グラム超過しましたが、再計量でクリア。試合に勝利し、見事アジア人初の快挙を成し遂げました。

ほんの少しの誤差が勝敗を分ける正確な判定によって生まれた歴史的瞬間を目の当たりにし、計量・計測に携わる者としてその重要性を改めて認識したところです。

これからも一ミリ、一グラム、一秒を大切にしながら、一日も早くコロナ禍が終息し、穏やかな日常が戻りますことを願うばかりです。(8u)